



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 丸文株式会社

上場取引所 東

コード番号 7537 URL <https://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯野 亨

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 渋谷 敏弘 TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	123,729	22.5	7,342	39.4	2,080	83.2	1,137	142.3
2023年3月期第2四半期	101,022	25.4	5,267	104.6	1,135	46.0	469	62.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,088百万円 (12.7%) 2023年3月期第2四半期 2,740百万円 (50.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	43.51	
2023年3月期第2四半期	17.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	203,651	54,625	23.8
2023年3月期	175,998	53,084	27.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 48,528百万円 2023年3月期 47,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		60.00	80.00
2024年3月期		25.00			
2024年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	6.1	12,500	13.7	5,000	36.8	3,000	42.3	114.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	28,051,200 株	2023年3月期	28,051,200 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	1,893,014 株	2023年3月期	1,916,429 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	26,143,088 株	2023年3月期2Q	26,134,771 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその事実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会経済活動の正常化が進む中、個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きが広がり、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、世界的なインフレの長期化や金融引き締めによる景気への下振れリスク、急激な為替変動による影響に加え、地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、半導体や電子部品の需給緩和によりサプライチェーンの正常化に進み、自動車向けに回復がみられました。その反面、スマートフォンやPC向けの需要が減少、データセンター向けも低迷が続き、産業機器市場では経済活動の減速懸念などから設備投資への慎重姿勢がみられ、調整局面に入りました。

こうした状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、民生機器や自動車向けの半導体・電子部品が伸長した結果、前年同期比22.5%増の123,729百万円となりました。利益面では、売上の増加に加え、為替相場が円安に進行したことによりデバイス事業で円換算ベースでの売上総利益が押し上げられたため、営業利益は前年同期比39.4%増の7,342百万円となりました。一方、営業外費用として、期初からの円安進行に伴い、外貨建て借入の返済に伴う期中での決済差損や第2四半期末における外貨建て借入の評価による評価損が発生し、為替差損3,361百万円を計上するとともに、米ドル金利の上昇により支払利息が前年同期に比べ1,255百万円増加いたしました。その結果、経常利益は前年同期比83.2%増の2,080百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比142.3%増の1,137百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業は、民生機器向け半導体の需要が大幅に伸長いたしました。また自動車向けや産業機器向け半導体が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比30.2%増の99,352百万円となりました。セグメント利益は、売上の増加に加え、円安進行による円換算ベースでの売上総利益の押し上げ効果により、前年同期比41.9%増の6,595百万円となりました。

(システム事業)

システム事業は、産業機器分野で産業用組込コンピューターや分析機器が増加した一方、医用機器分野で大型の画像診断装置の販売が減少した結果、売上高は前年同期比1.5%減の23,538百万円となりました。セグメント利益は売上総利益率の改善に伴い、前年同期比15.6%増の920百万円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業は、ICT関連で時刻同期ソリューションの需要が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比4.9%増の838百万円となりました。セグメント利益は販管費の増加により、169百万円のセグメント損失（前年同期は173百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は193,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,040百万円増加いたしました。これは主に未収入金が22,923百万円、電子記録債権が2,213百万円、受取手形及び売掛金が2,019百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は10,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ612百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が435百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は203,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,653百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は143,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,144百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,750百万円減少した一方で、未払金が15,968百万円、短期借入金11,870百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は5,793百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は149,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,113百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は54,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,540百万円増加いたしました。これは主に非支配株主持分が760百万円、為替換算調整勘定が689百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は23.8%（前連結会計年度末は27.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した業績予想を修正いたしました。

今年度の売上高は、上期にデバイス事業の売上が当初見込んでいた計画を上回り好調に推移したことから240,000百万円（前期比6.1%増）を予想しております。また営業利益は、売上の増加や円安進行に伴う円換算ベースでの売上総利益の押し上げにより、12,500百万円（前期比13.7%増）を予想しております。一方、円安進行に伴う第2四半期累計期間での為替差損の計上及び米ドル金利の上昇による支払利息の増加を見込み、経常利益は5,000百万円（前期比36.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,000百万円（前期比42.3%減）を予想しております。

修正した内容の詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,253	21,091
受取手形及び売掛金	51,426	53,445
電子記録債権	7,989	10,202
商品及び製品	54,558	54,179
仕掛品	79	264
未収入金	28,914	51,837
その他	1,940	2,179
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	166,143	193,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,651	3,689
減価償却累計額	△2,464	△2,512
建物及び構築物 (純額)	1,186	1,177
機械装置及び運搬具	9	9
減価償却累計額	△9	△9
機械装置及び運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	2,253	2,292
減価償却累計額	△1,770	△1,824
工具、器具及び備品 (純額)	483	467
土地	1,411	1,411
リース資産	34	34
減価償却累計額	△17	△20
リース資産 (純額)	16	13
使用権資産	206	229
減価償却累計額	△105	△120
使用権資産 (純額)	100	109
建設仮勘定	4	61
有形固定資産合計	3,203	3,240
無形固定資産	898	906
投資その他の資産		
投資有価証券	2,317	2,752
繰延税金資産	505	219
退職給付に係る資産	232	260
その他	2,807	3,304
貸倒引当金	△109	△216
投資その他の資産合計	5,753	6,320
固定資産合計	9,855	10,468
資産合計	175,998	203,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,005	26,255
短期借入金	69,423	81,294
1年内返済予定の長期借入金	25	—
リース債務	72	85
未払金	14,738	30,707
未払法人税等	1,114	585
賞与引当金	1,020	1,047
その他	2,688	3,258
流動負債合計	117,089	143,233
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
リース債務	122	106
退職給付に係る負債	365	366
役員退職慰労引当金	107	110
資産除去債務	113	113
その他	116	95
固定負債合計	5,824	5,793
負債合計	122,913	149,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,363
利益剰余金	34,388	33,957
自己株式	△1,631	△1,611
株主資本合計	45,325	44,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	821	1,111
繰延ヘッジ損益	△26	145
為替換算調整勘定	1,684	2,374
退職給付に係る調整累計額	△56	△27
その他の包括利益累計額合計	2,422	3,603
非支配株主持分	5,336	6,097
純資産合計	53,084	54,625
負債純資産合計	175,998	203,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	101,022	123,729
売上原価	88,313	108,475
売上総利益	12,708	15,254
販売費及び一般管理費	7,440	7,911
営業利益	5,267	7,342
営業外収益		
受取利息	5	62
受取配当金	32	37
持分法による投資利益	60	173
雑収入	64	43
営業外収益合計	162	317
営業外費用		
支払利息	638	1,893
売上債権売却損	126	312
為替差損	3,491	3,361
雑損失	38	12
営業外費用合計	4,294	5,580
経常利益	1,135	2,080
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
その他	0	—
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	1,134	2,079
法人税等	375	633
四半期純利益	759	1,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	469	1,137

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	759	1,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	289
繰延ヘッジ損益	68	175
為替換算調整勘定	2,051	1,150
退職給付に係る調整額	△44	29
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△2
その他の包括利益合計	1,980	1,642
四半期包括利益	2,740	3,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,654	2,318
非支配株主に係る四半期包括利益	1,085	769

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,134	2,079
減価償却費	361	288
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	21
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	10
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△98	4
受取利息及び受取配当金	△38	△100
支払利息	638	1,893
為替差損益 (△は益)	9,073	6,434
持分法による投資損益 (△は益)	△60	△173
固定資産除売却損益 (△は益)	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,488	△3,320
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,362	495
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,463	△2,561
未収入金の増減額 (△は増加)	2,492	△22,920
未払金の増減額 (△は減少)	△7,569	16,156
その他	72	509
小計	△12,397	△1,071
利息及び配当金の受取額	37	93
利息の支払額	△535	△1,946
法人税等の支払額	△645	△1,084
法人税等の還付額	11	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,529	△3,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△224	△351
定期預金の払戻による収入	166	232
有形固定資産の取得による支出	△41	△274
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△117	△208
投資有価証券の取得による支出	△13	△14
資産除去債務の履行による支出	△25	—
その他	△18	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271	△667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,266	4,715
長期借入金の返済による支出	△25	△25
配当金の支払額	△520	△1,565
非支配株主への配当金の支払額	△9	△9
その他	△40	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,669	3,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,386	1,248
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,744	△335
現金及び現金同等物の期首残高	24,693	20,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,949	20,322

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	ソリューショ ン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,320	23,902	799	101,022	—	101,022
セグメント間の内部売上高又は振替高	48	444	0	493	△493	—
計	76,368	24,347	799	101,515	△493	101,022
セグメント利益又は損失(△)	4,649	796	△173	5,271	△3	5,267

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	ソリューショ ン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	99,352	23,538	838	123,729	—	123,729
セグメント間の内部売上高又は振替高	49	84	13	147	△147	—
計	99,401	23,622	851	123,876	△147	123,729
セグメント利益又は損失(△)	6,595	920	△169	7,345	△2	7,342

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。